



(弘道館のロウバイ)

## ロウバイ (臘梅)

氷のように冷たい風が吹く厳寒の頃、ロウバイの細やかな黄色の花は、枝先に数個集まって、ちょっと下向きに咲きます。

江戸時代初期に中国から渡来し、「唐梅」の別名もありますが、花卉が半透明で、蠟細工のような光沢があることや、臘月(陰暦12月の別称)の頃咲き始めるということが、この名称の語源とされています。

芳香もあり、寒い季節を彩る清楚な花として、盆栽仕立てなどで愛好されています。

「しらじらと障子を透す冬の日や

室に人なく臘梅の花」

窪田 空穂